

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-2-145  
 補助事業名 平成 24 年度 幸せに暮らせる福祉社会を作る活動 補助事業  
 補助事業者名 一般社団法人日本ののちの電話連盟

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

全国のいのちの電話相談員が一堂に会して行われる大会は、より良い聴き手となるための研修を目的とする。今回は、東日本大震災から 1 年半がたち、苦難に出会った人々に相談員がより深く耳を傾け、寄り添えるように共に学ぶ場、また全国の相談員が絆を確かめる場とする。

#### (2) 実施内容

第 30 回いのちの電話相談員全国研修会

日時：平成 24 年 10 月 12 日（金）～14 日（日）

会場：札幌パークホテル・パークホール、北星学園大学

テーマ：「支えあう、いのちといのち—震災から 1 年半」

参加者数：693 名

大会の概要と日程					
◆テーマ	「支えあう、いのちといのち—震災から 1 年半」				
◆開催期日	2012年10月12日(金)13日(土)14日(日)				
◆会場	札幌パークホテル・北星学園大学				
(第1日目) 10月12日(金)					
14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	20:30
受付	開会式	基調講演	移動	交流会	
会場	札幌パークホテル3F「パークホール」			札幌パークホテルB2「パークプラザ」	
※交流会の終了時間は、案内書では20:00としておりましたが、20:30に変更になりました。					
(第2日目) 10月13日(土)					
9:15	10:00	12:00	13:00	16:00	
受付	分科会	昼食	分科会	特別企画	
会場	北星学園大学				「市内観光と交流」 (希望者のみ)
(第3日目) 10月14日(日)					
9:00	9:30	12:00	12:30		
受付	シンポジウム		閉会式	エクスカーション	
会場	札幌パークホテル3F「パークホール」				(希望者のみ)
◎札幌パークホテル	〒064-8589	札幌市中央区南10条西3丁目1番1号			
	℡011-511-3131	(代表)			
◎北星学園大学	〒004-8631	札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号			
	℡090-8632-6464	(北海道いのちの電話さっぽろ大会事務局)			

#### 1 日目 基調講演

「震災後を生きる～震災から 1 年半  
いま私たちに出来ることは」

講師：齋藤 環氏

(爽風会佐々木病院診察部長)



被災した心を支援するために

- ◎ 最大の危機は「忘れられること」
- ◎ 最大の支援は「忘れないこと」
- ◎ 忘れないために「語り合うこと」

## 2日目 分科会 10月13日(土)

●会場：北星学園大学 A館・B館

●受付 9:15 ・開始 10:00 ・昼食 11:30～13:30のうち1時間 ・終了 16:00

### A 援助のあり方を探る

A	1	喪失体験をめぐる援助のあり方	野島 一彦	A館4F
	2	被災者の電話を聴く	日高 正宏	A館4F
	3	大切な人を亡くした体験から	福山 清蔵	A館4F
	4	震災からの復興に向けたサイコドラマ体験	前田 潤	A館4F

### B 理解を深める

B	1	べてるの家の「当事者研究」入門	向谷地生良	A館5F
	2	ひきこもりを考える	上田 敏彦	A館5F
	3	アルコール依存を考える —正しい理解と援助とは—	鎌田 隼輔	A館5F
	4	自死遺族の心情を聞く	吉野 淳一	A館5F
	5	家族を考える	諏訪 亨	A館5F

### C 聴くことを磨く

C	1	相談員に役立つスーパービジョンを目指して	田中 邦子	A館7F
	2	「いま・ここ」での聴き方とは？ —効果的なロールプレイとともに考える—	阪田憲二郎	A館7F
	3	攻撃性の強いかけ手の対応を考える	横田 雅史	A館7F
	4	ワンランクアップの対応を目指して —質問力を磨く— (対象：相談員経験5年未満)	末松 渉	A館7F
	5	質問力を磨く —傾聴の次に何が必要か？— (対象：相談員経験5年以上)	相場 幸子	A館7F

### D 共に感じる

D	1	相談員としての歩みを振り返る	池田 光幸	A館6F
	2	(人を支える組織)を支える、を考える	樽見 弘紀	A館6F
	3	プレイバックシアターで傾聴、共感、受容を体験する	東海林義孝	B館6F
	4	つながろう、全国の仲間たち	関宮 和代	A館6F

### E 考えよう、議論しよう

E	1	これからのいのちの電話と事務局の方向性をめぐって	平田眞貴子	B館6F
---	---	--------------------------	-------	------

## D-3「プレイバックシアターで傾聴、共感、受容を体験する」



## D-4「つながろう、全国の仲間たち」



## 3日目 10月14日(日)

全体会：9:30～12:30

●札幌パークホテル3F「パークホール」

シンポジウム：9:30～12:00

「震災から1年半—今、いのちの電話にできること」

コーディネーター (敬称略、以下同)

今 川 民 雄 (北星学園大学教授)



### ◆報告

「震災から1年半の体験と現状」

被災地4センターの相談員 (盛岡、仙台、福島、茨城)

コメンテーター (専門家の立場より)

●田 辺 等 (北海道立精神保健福祉センター長)



●阪 田 憲二郎 (神戸学院大学准教授) ※ 分科会C-2の講師

●末 松 渉 (東京いのちの電話顧問) ※ 分科会C-4の講師

### ◆質疑及び討論

閉会式：12:00～12:30

●さっぽろ大会参加の謝辞と総括 (北海道いのちの電話)

●ご挨拶と次期開催センターの紹介 (日本いのちの電話連盟)

●次期開催センター代表ご挨拶 (関西いのちの電話)

## シンポジウム全景 左からコーディネーター、コメンテーター、報告者

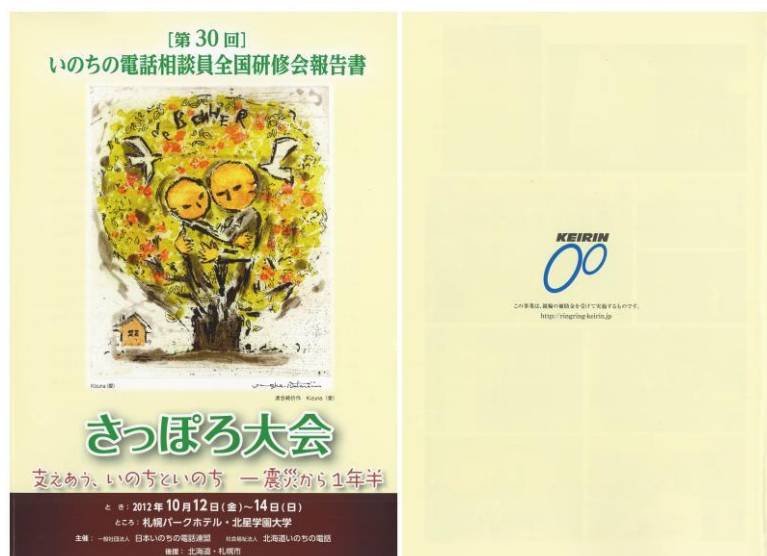


## 2 予想される事業実施効果

東日本大震災から時間の経過とともに世間の関心が薄れていく風潮の中、今回の基調講演とシンポジウムを通して、東日本大震災という未曾有の出来事を忘れることなく、被災者支援に向けての取り組みを再確認できたことは、今後の電話相談に反映されるものと思われる。また、分科会では、相談員が抱えている問題を提示し合い、いのちの電話の共通理解を改めて確認できたことで今後の活動に新たなエネルギーが得られ、相談電話を受ける際に大きな支えとなるであろう。

## 3 本事業により作成した印刷物等

案内書	1,300部
A2ポスター	150部
封筒角2号	1,000枚
大会要綱	1,000部
大会報告書	1,000部



大会報告書表紙と裏表紙

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本いのちの電話連盟  
(イッパンシャダンホウジンイノチノデンワレンメイ)  
住所： 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-2-32  
代表者： 理事長 樋口和彦 (リジチョウ ヒグチカズヒコ)  
担当部署： 事務局 (ジムキョク)  
担当者名： 事務局長 岡本正子 (ジムキョクチョウ オカモトマサコ)  
電話番号： 03-3263-6165

F A X : 03-3511-7508

U R L : <http://www.find-j.jp/>